

統計

2019 年から 2023 年までに行った自家末梢血幹細胞移植の疾患別症例数。

	悪性リンパ腫	多発性骨髄腫	急性白血病	計
2019 年	0	0	0	0
2020 年	0	0	0	0
2021 年	0	0	0	0
2022 年	0	0	0	0
2023 年	3	4	0	7
計	3	4	0	7

2019 年から 2023 年までに行った同種造血幹細胞移植の症例数。

造血幹細胞の種類による分類

	血縁者間		非血縁者間		非血縁 臍帯血	計
	骨髄	末梢血	骨髄	末梢血		
2019 年	1	0	8	0	0	9
2020 年	1	0	8	0	3	12
2021 年	1	0	7	0	0	8
2022 年	2	0	6	1	0	9
2023 年	1	0	3	1	2	7
計	6	0	32	2	5	45

移植前治療の強度による分類

	骨髄破壊的(フル)	骨髄非破壊的(ミニ)	計
2019 年	3	6	9
2020 年	3	9	12
2021 年	4	4	8
2022 年	2	7	9
2023 年	2	5	7
計	14	31	45

対象疾患による分類

	急性骨髄 性白血病	急性リンパ 性白血病	慢性骨髄 性白血病	悪性リン パ腫	多発性 骨髄腫	骨髄異型性 症候群	成人T細胞 性白血病	計
2019 年	6	0	0	3	0	0	0	9
2020 年	7	2	2	0	0	1	0	12
2021 年	6	0	1	1	0	0	0	8
2022 年	5	2	0	2	0	0	0	9
2023 年	4	0	0	0	0	3	0	7
計	28	4	3	6	0	4	0	45

治療成績

急性白血病

2014 年 1 月から 2023 年 12 月までに当センターにおいて、132 名の初発の急性骨髄性白血病の患者さん（年齢 17 歳から 86 歳、中央値 59 歳）と 39 名の初発の急性リンパ性白血病の患者さん（年齢 20 歳から 78 歳、中央値 58 歳）に対して多剤併用の化学療法を行いました。完全寛解が得られたのは急性骨髄性白血病 132 名中 103 名（78.0%）で、急性リンパ性白血病 39 名中 34 名（87.2%）でした。寛解導入療法中あるいは強化・地固め療法中の治療関連死亡は 6 名（3.5%）にみられました。

急性骨髄性白血病

5 年全生存率は $41.6 \pm 5.1\%$ 、5 年無増悪生存率は $37.1 \pm 4.7\%$ でした。

急性リンパ性白血病

5 年全生存率は $54.1 \pm 9.6\%$ 、5 年無増悪生存率は $40.7 \pm 9.9\%$ でした。

同種造血幹細胞移植

2019 年 1 月から、2023 年 12 月までに当センターにおいて、45 名の患者さん（年齢 35 歳から 69 歳、中央値 56 歳）に対して同種造血幹細胞移植を行いました。移植後 100 日以内の治療関連死亡は 7 名（15.6%）、非再発死亡は計 11 名（24.4%）に見られました。

3 年全生存率は $40.0 \pm 9.7\%$ でした。